

令和3年3月12日下水道革新的技術実証事業評価委員会

「温室効果ガスを抑制した水熱処理と担体式高温消化による固形燃料化技術」 詳細調査結果報告に係るフォローアップ審査 総括

○本技術について、下記の観点からフォローアップ審査を実施した。

- ・本技術の詳細調査結果を踏まえたガイドラインの見直し等。

○詳細調査結果報告結果について次のとおり総括する。

- ・詳細調査を通じて、次の知見が得られた。
 - ①設備の強度に影響する様な劣化は確認されなかった。
 - ②各設備について、これまでの劣化の進行状況を踏まえ、一定の仮定条件の下、設定耐用年数20年より延伸できる可能性が示唆された。
- ・自主研究の成果、本詳細調査結果で得られた知見については評価委員会の意見を踏まえ、今後、参考情報としての公表等について国総研において検討していく。